

三菱業務用単独加湿ユニット〔ドレンアップメカ内蔵形〕

形名

# TKA-2400R2-DM

## 据付工事説明書

## 販売店・工事店様用

据付工事を始める前に、この据付工事説明書をよくお読みください。

据付工事は、必ず専門の工事店で実施してください。

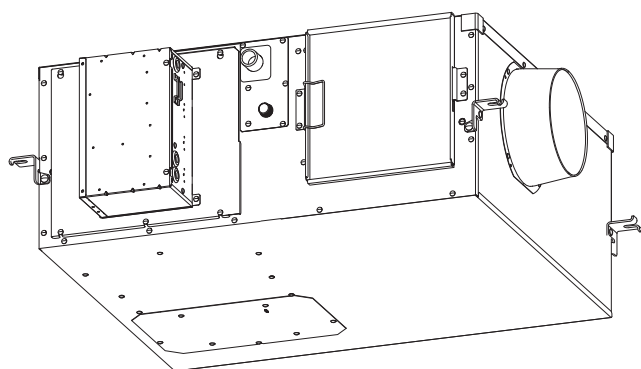
電気工事は電気工事士の方が実施してください。

(お客様自身で据付けないでください。無資格者の電気工事は法律で禁止されています)

給水配管工事は、所轄水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者の方が実施してください。

**別冊の「取扱説明書」はお客様用です。据付工事が終わりましたらこの説明書とともに、お客様に必ずお渡しして、使用方法を説明してください。**

■この製品にはリモコン他、別売のシステム部材が必要です。カタログ等により別途ご用意ください。



### もくじ

	ページ
安全のために必ず守ること……………	2・3
外形寸法図……………	4
標準据付例……………	5
据付方法……………	5～9
機能設定……………	10
据付工事後の確認……………	10
試運転……………	11・裏表紙



この製品は TKA-2400R2 にドレンアップメカを内蔵したものです。

この据付工事説明書に同梱の TKA-2400R2 の据付工事説明書も併せてご覧ください。






※本説明書に記載されている内容のみ異なります。

# 安全のために必ず守ること










■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの



■ “図記号”の意味は次のとおりです。

	禁止		アース線接続
	分解禁止		指示に従い必ず行う
	風呂・シャワー室での使用禁止		

## 警告

	低温(0℃以下)となる場所には据付けない (電磁弁、配管等が破裂し、水漏れの原因になります)	 指示に従い必ず行う	端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する (接続に不備があると火災のおそれがあります)
	外気を吸い込ませない (結露による感電や故障の原因になります)		電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付工事説明書に従って取付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する (電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因になります)
	改造や必要以上の分解をしない (火災・感電・けがの原因となります)		漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する (漏電した場合、火災の原因になります)
	浴室など湿気の多い場所には、本体・リモコンとも据付けない (感電や故障の原因になります)		製品金属部(金属製ダクト)がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように取付ける (接続されていると漏電した場合、火災の原因になります)
	アースを確実に取付ける (アースを取付けないと故障や漏電のときに感電の原因になります)		電気工事の際は、必ず分電盤のブレーカーを切る (通電状態では感電やけがをすることがあります)
	定格電圧、制御容量範囲で使用する (間違った電圧で使用すると火災や感電の原因になります)		凍結のおそれのある地域では、必ず凍結防止工事を行う (電磁弁・配管などが破損し、水漏れの原因になります)
	コントロールボックスカバーは施工後、必ず取付ける (ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります)		
	本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に (落下によりけがをすることがあります)		

# ⚠ 注意

 禁止	高温(40℃以上)や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない (火災のおそれがあります)	 指示に従い 必ず行う	据付け後長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)
	機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には据付けない (絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります)		吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する (指定以外のものを使用すると落下の原因になります)
	塩害・温泉害などの発生している場所には据付けない (絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります)		据付けの際は手袋を着用する (着用しないとけがの原因になります)
	ドレン配管の途中に市販のドレンポンプ(ドレンアップメカ)を接続して排水を処理しない (製品の異常停止や、ドレンポンプの故障により水漏れし、天井・床・その他、大切なものを濡らす原因になります)		ドレン配管工事は据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように断熱処理をする (配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財などを濡らす原因になります)
	ドレン配管の先端を雨どい等に入れない (大雪時、雨どいが凍結して排水されず、本体から水漏れする原因になります)		製品の運搬には十分注意して行う (20kg以上の製品は原則として二人以上で行ってください。PPバンドなどで所定の位置以外を持って製品を動かさないでください。素手で板金部品などに触れるとけがをする場合がありますので保護具をご使用ください)
	軟水器を使用しない (残留物が析出し、飛散する原因になります)		
	過加湿にしない (結露により、建物を傷める原因になります)		

## お願い

- 本製品は室内空気の循環加湿を行う製品です。吸込空気に外気を入れないでください。
- 運転・停止時に加湿部が0℃以下とならないところに据付けてください。
- 天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
- 給気・吸込が混ざらない配管工事を行ってください。
- 給水・排水工事は各市町村の条例に従ってください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。(加湿量低下や異常音発生の原因になります)

● 極端な曲げ



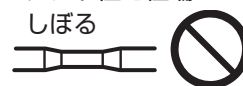
● 多数の曲げ



● ダクト接続フランジのすぐそばでの曲げ



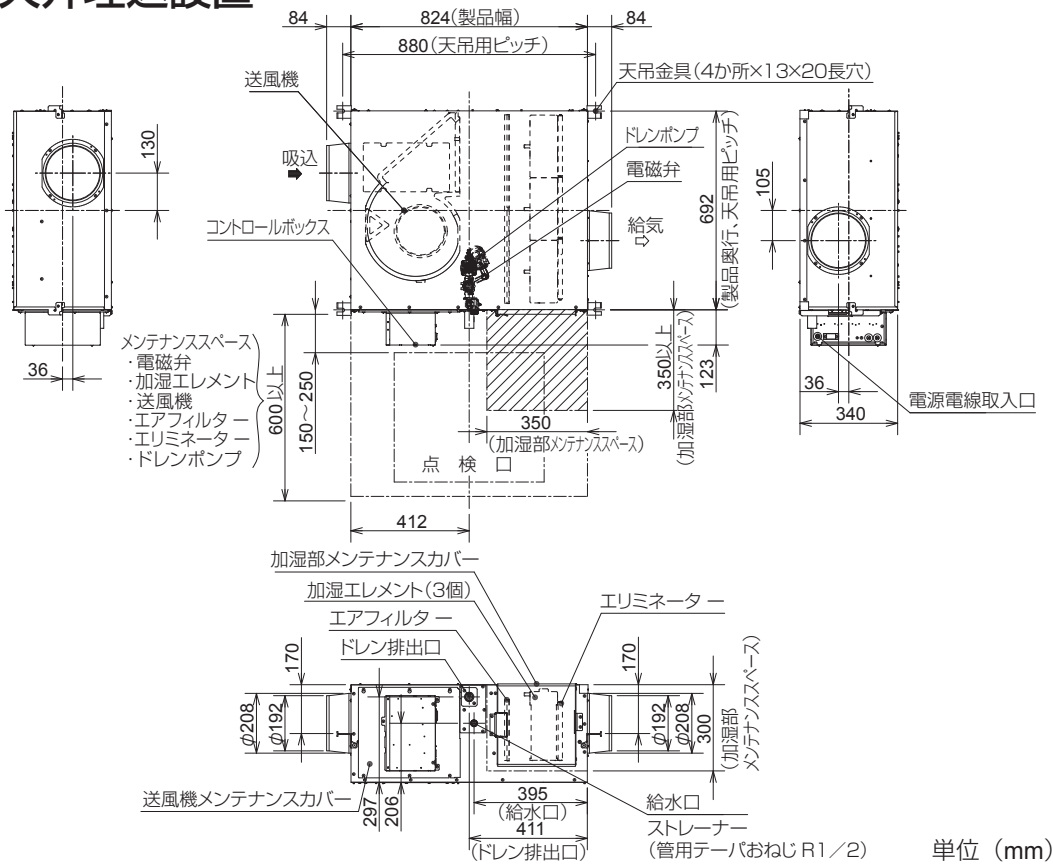
● ダクト径を極端にしぼる



- 濡れて困るものの上に製品を設置しないでください。
- 喫煙室から吸い込んだ空気を別の部屋等へ吹き出さないでください。
- 本製品は定期的なメンテナンスを怠ると性能低下の原因となります。メンテナンスのために必ず本紙に記載しているメンテナンススペース、点検口を設置してください。

# 外形寸法図

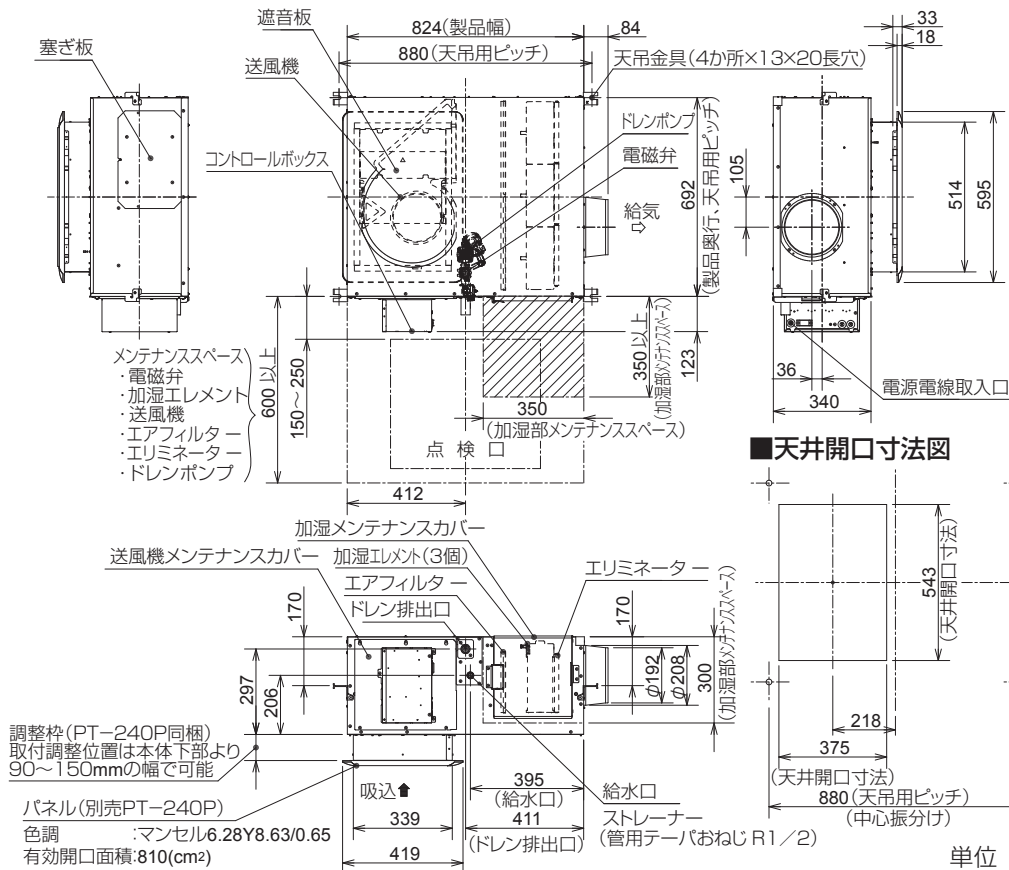
## ■ 天井埋込設置



単位 (mm)

## ■ 天井ビルトイン設置

TKA-2400R2-DM (本体) + PT-240P (別売システム部材天井ビルトイン設置用パネル)



■天井開口寸法図

単位 (mm)

## 付属部品

(パーツボックスに入っています)

- ①取付ネジ  
 十字穴付トラスタッピンネジ  
 4×8 (フランジ接続用)  
 ……8本  
 十字穴付トラス小ネジ  
 M5×10 (天吊金具固定用)  
 ……4本



- ②ダクト接続フランジ  
 ……2個



- ③ネジキャップ…21個



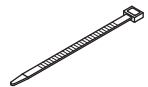
- ④ドレンホース ……1個



- ⑤断熱材  
 ドレン配管用 ……1個

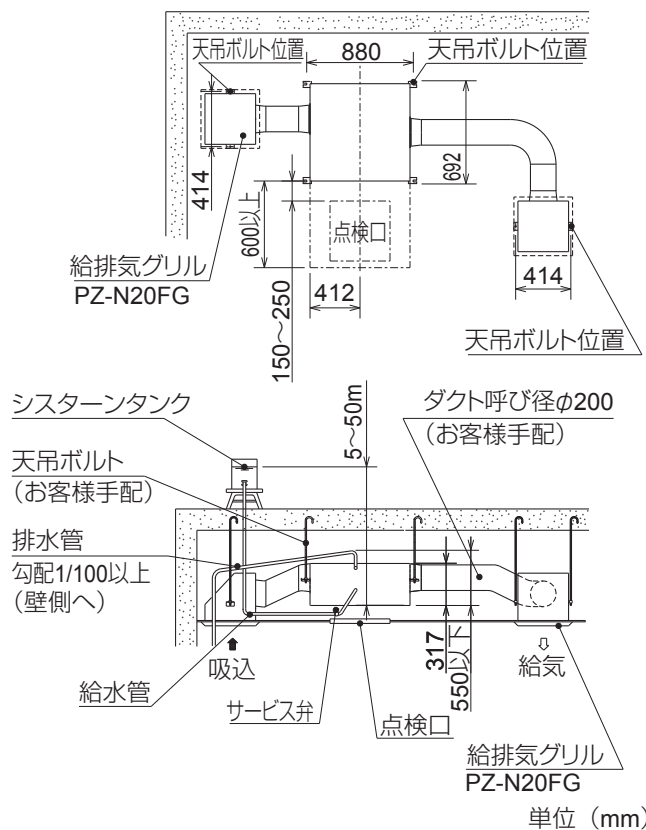


- ⑥結束バンド  
 (大) ……1本  
 (小) ……2本

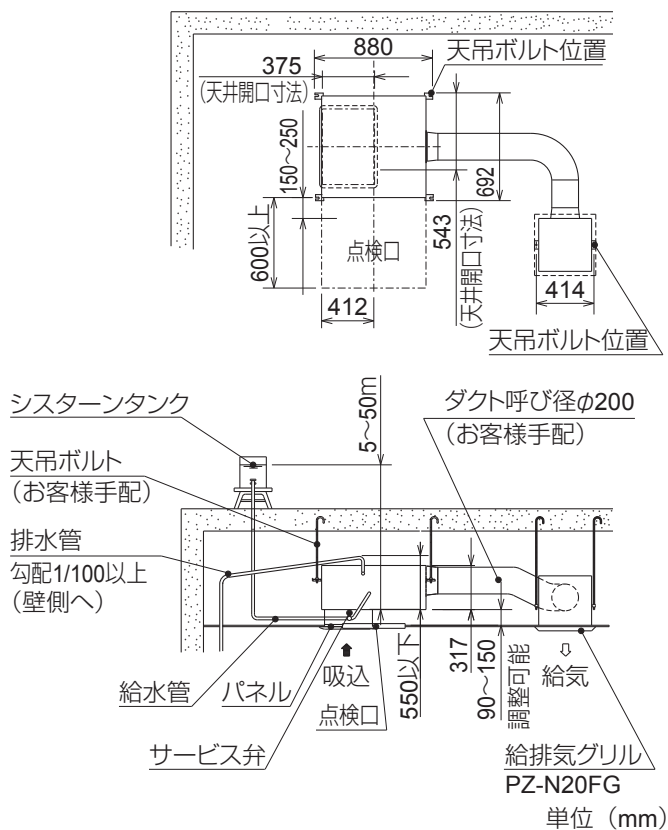


# 標準据付例

## ■ 天井埋込設置



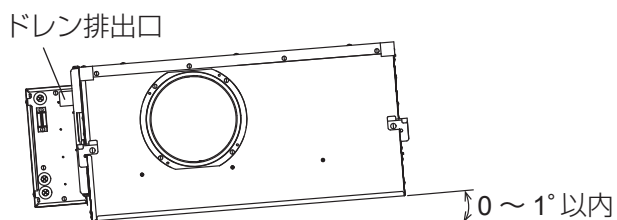
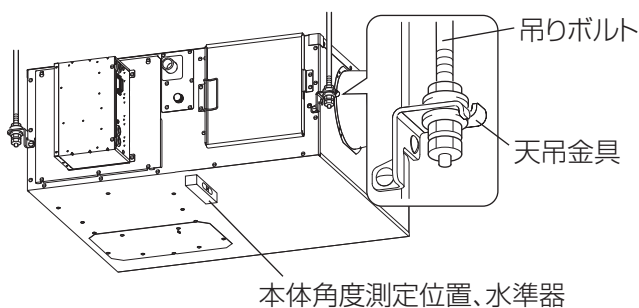
## ■ 天井ビルトイン設置



■ ブースターファンを併用する場合、給気側ダクト内を負圧にしないようにしてください。負圧になると加湿運転時に十分に排水がされず、水漏れの原因になります。

# 据付方法

## 本体の据付け



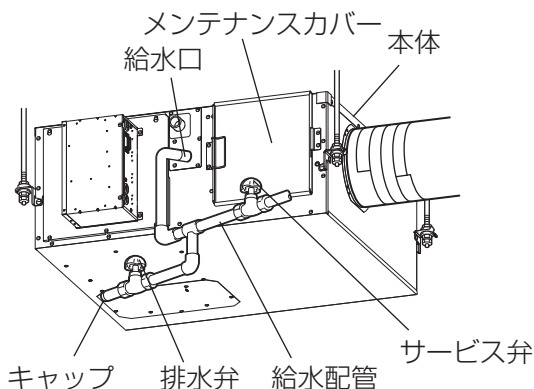
## 本体の固定

1. 天吊金具 (4か所) を吊りボルトに引っ掛け、本体が水平になるよう調節する。
  2. 本体が水平もしくはドレン排出口が下になるよう (1° 以内) に調節し、ゆるみ防止のためダブルナットで確実に締め付ける。
- 上記取付けが守られないと排水が排出されず、残水から不純物 (白粉等) が発生する原因となります。

### お願い

- 本体を吊り上げるとき、コントロールボックスに力が加わるような取扱いをしないでください。
- 吊りボルトは耐震など必要に応じ、振れ止め用耐震支持部材にて補強を行ってください。
- コントロールボックス位置のサービスカバーをはずすため、吊りボルトがサービスカバーにかからないようにボルトを切断してください。
- 本体角度の確認は図の本体角度測定位置で測定してください。

# 据付方法 つづき



## 換算のしかた

1 MPa = 10.197kgf/cm<sup>2</sup>  
目安として 1 kgf/cm<sup>2</sup> ≒ 0.1MPa で換算する

## 給水配管工事

給水配管工事に際して給水配管と給水口（管用テーパおねじ R1/2）との間に、屈曲・振動などを吸収するため市販の可とう性のあるフレキシブルパイプ等を使用して接続する。

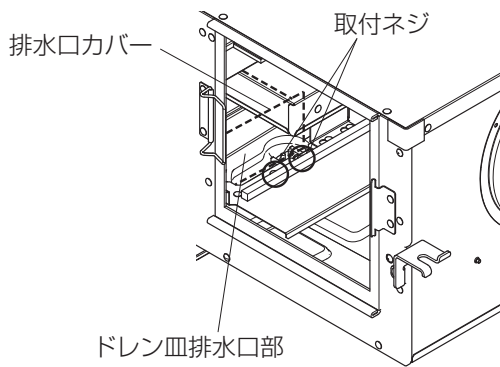
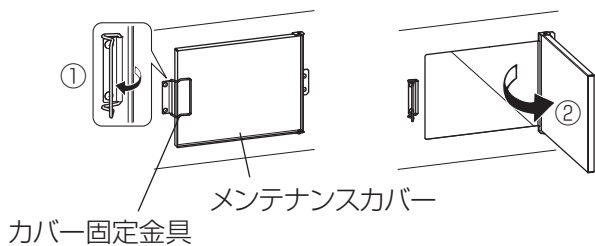
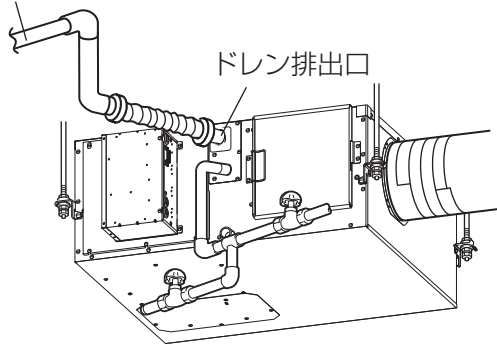
- 給水口と接続の際はネジの種類に注意し、ネジの種類をあわせて工事を行う。
- 給水は、市水または上水を使用し防露工事を行う。（凍結のおそれのある場合は凍結防止工事を行う）
- 給水圧力は水道管に接続する場合、シスターンタンクを使用する場合、いずれの場合も 0.05MPa ~ 0.49MPa になるように設定する。
- シスターンタンク等を使用する場合、給水量は 350cc/分 確保してください。
- 給水口近くにサービス弁・排水弁を設置して給水配管を行う。
- 給水配管工事の際、切り粉などが入らないよう真水できれいに洗い流してから配管するか、配管途中で排水弁を設け、水の白濁がなくなるまで十分予備排水を行う。（排水が不十分な場合は電磁弁の故障や加湿エレメントの機能低下の原因になります）
- 給水はシスターンタンク使用以外に水道管を直接接続することもできます。（地区により規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄官庁にご相談ください）

## お願い

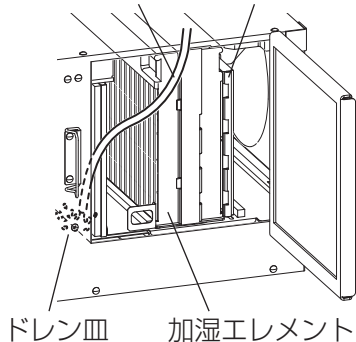
- 給水配管工事は、所轄水道局（水道事業者）指定の給水装置工事事業者の方が指定された配管材料を使用して施工してください。
- 給水温度は 5℃ ~ 40℃ としてください。
- 排水弁およびサービス弁は点検口からとどく範囲に設置してください。
- 給水口に力が加わらないよう給水配管を固定してください。
- 給水に配管工事用切削油・洗浄液が混入しないようご注意ください。
- 給水配管およびドレン配管が加湿部メンテナンスカバーの開閉および加湿エレメント、エリミネーターの取り出しや、コントロールボックスおよび送風機のメンテナンスの妨げにならないよう配管してください。
- 切削油などの油類は加湿エレメントおよびドレン皿を劣化させますので、供給水に切削油などが含まれないようにしてください。付着した場合には直ちに多量の水で洗い流してください。
- 給水装置の水圧検査時は、必ずサービス弁を閉じてから行ってください。

## ドレン配管工事

ドレン配管(こう配1/100以上)  
塩ビパイプVP25



注水ホース (お客様手配) エリミネーター



1. 製品側のドレン排出口に付属のドレンホースを接続する。  
8ページ「注意点と作業手順」を参照ください。(排水性確保のため)
2. ドレン配管を取付け、配管の先端は必ず排水可能なところまで導く。

### ⚠ 注意

ドレン配管の先端を雨どい等に入れない

大雪時、雨どいが凍結して排水されず、本体から水漏れする原因になります

ドレン配管の途中にドレンポンプ(ドレンアップメカ)を接続して排水を処理しない

製品の異常停止や、ドレンポンプの故障により水漏れし、天井・床・その他、大切なものを濡らす原因になります

### 3. 排水が排出されることを確認する。

- (1) メンテナンスカバーをあける。(別冊の取扱説明書参照)
  - ① カバー固定金具を矢印方向にはずす。
  - ② メンテナンスカバーを手前に引いてカバーを開ける。
- (2) 排水口カバーの取付ネジ(2か所)を取りはずし、カバーをはずす。  
※はずしたネジをなくさないように保管をお願いします。
- (3) 全ての加湿エレメント、エリミネーターに倒れや傾き、ズレがないことを確認する。

#### お願い

- 加湿エレメント、エリミネーターに倒れや傾き、ズレがあると水漏れの原因になる場合があります。必ず修正してください。
- (4) ドレン皿に約 1000cc 注水する。(直接ドレンポンプに水を掛けない)
  - (5) 本体の電源を入れ、ポンプ試運転スイッチ(本体回路 SW7-6)を ON にして、ドレン配管の最終出口部で排水が排出されることを確認する。
  - (6) ポンプ試運転スイッチ(本体回路 SW7-6)を OFF にして、本体の電源を切る。
  - (7) 排水口カバーを元通り取付け、メンテナンスカバーを元通り閉める。
- ※ 必要以上の水を注水するとドレンポンプが水没し、故障の原因となります。

# 据付方法 つづき

## 注意点と作業手順

- ドレン配管の施工時は以下に示す事柄を必ず守ってください。
- ドレン配管は、イオウ系ガスが発生する下水溝には、直接入れないでください。
- 接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
- 水タレが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
- 室内を通るドレン配管は、必ず市販の断熱材（発泡ポリエチレン比重 0.03、厚さ 10mm 以上）を巻いてください。
  - ① 最上階または高温多湿の条件下で使用する場合は、上記の厚さ以上にする必要があります。
  - ② 客先指定の仕様がある場合は、それに従ってください。
- 施工後、排水が排出されていることをドレン配管最終出口部で確認してください。
- ドレン配管は室外側（排水側）が下りこう配（1/100 以上）となるようにしてください。
- ドレン配管の立ち上げは、製品本体の排水口から手前側へ 350mm 以下で、製品底面から 550mm 以下を 1 回のみとしてください。それ以降はトラップを設けないでください。
- ドレン配管に通気管、排水口から 1/100 こう配の中で横引きでの合流は設けないでください。
- 排水が逆流するおそれがありますので、ドレン配管の途中で内径を縮小しないでください。
- ドレン配管の横引きは 20m（高低差は含みません）以下にしてください。また、ドレン配管が長い場合には途中で支持金具を設けてドレン配管の波打ちをなくしてください。エア抜き管は絶対につけないでください。排水が吹出場合があります。
- ドレン揚程の処理は以下の図に示す範囲で行ってください。守られないと漏水の原因となります。
- ドレン配管は硬質塩ビパイプ一般管 VP25（外径  $\phi$ 32）を使用してください。
- 必ず付属のドレンホースを使用し、単独加湿ユニットのドレン口と現地配管の距離は図 1 に従い、工事を行ってください。ドレンホースの透明カフスは必ずドレン配管側（排水の流れの可視化するため）に接続してください。
- ドレンホースに無理な引張・圧縮荷重がかからないようにしてください。
- ドレンホースの接合部は日本水道協会規格品の硬質塩化ビニール管用接着剤を使用し、接合および止水してください。また、差込部が抜けやすい付属の結束バンドにて固定してください。
- 集合配管の場合、図 2 のように本体ドレン出口より 100mm 低い位置に集合配管がくるようにしてください。
- ドレン配管の出口は臭気が発生するおそれのない場所に施工してください。
 

注）・ドレン配管スペースが横方向に取れない場合は、軟質塩ビカフス（現地手配）等による接続をお勧めします。  
・天井内が高温多湿雰囲気（露点温度 26℃ 以上）で長時間運転されますと、ドレンホース部に結露する場合がありますので、そのような条件で使用できる可能性がある場合は断熱材を貼付けるなどの処置をしてください。
- 給水配管、ドレン配管は必ず加湿部のメンテナンススペースを設けて配管してください。メンテナンススペースが確保されていない場合は、加湿部のメンテナンスができないおそれがあります。

## 作業手順（基本例）

1. 付属のドレンホース④を本体ドレン口に取付け、すき間が無いように奥まで差し込む。（折れ・詰まりが起こらないように水平（3° 以内）で使用してください）（接着剤にて接着し、付属の結束バンド（小）⑥で締付ける）
2. 現地手配のドレン配管（塩ビパイプ、VP25）を取付ける。（接着剤にて接着し、結束バンド（小）⑥で締付ける）
3. 付属のドレンホース用断熱材⑤にて、本体ドレン口部を断熱し、付属の結束バンド（大）⑥で締付ける。（大・小の結束バンドは、かさならないように締め付けてください）
4. 断熱工事を行う。（塩ビパイプ、VP25 およびソケット（エルボ含））
5. 排水性を確認する。（据付工事説明書の 7 ページを参照ください）

図 1 「ドレンホースの取付方法」

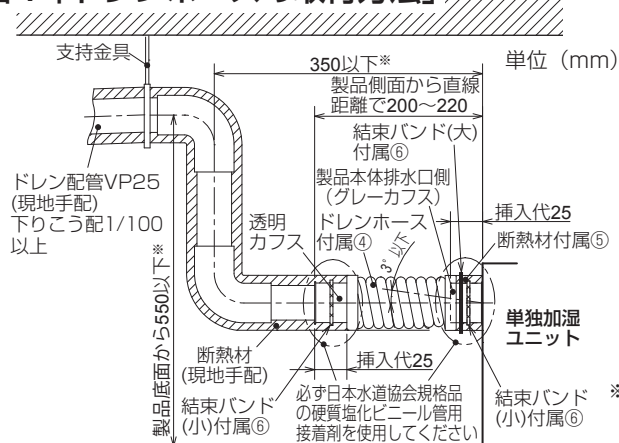
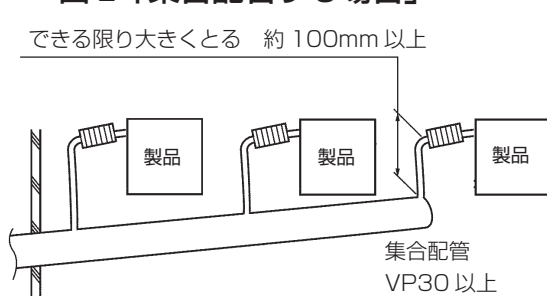


図 2 「集合配管する場合」



※左図範囲内で付属のドレンホースを使用してドレン揚程の処理を行ってください。

## 注意

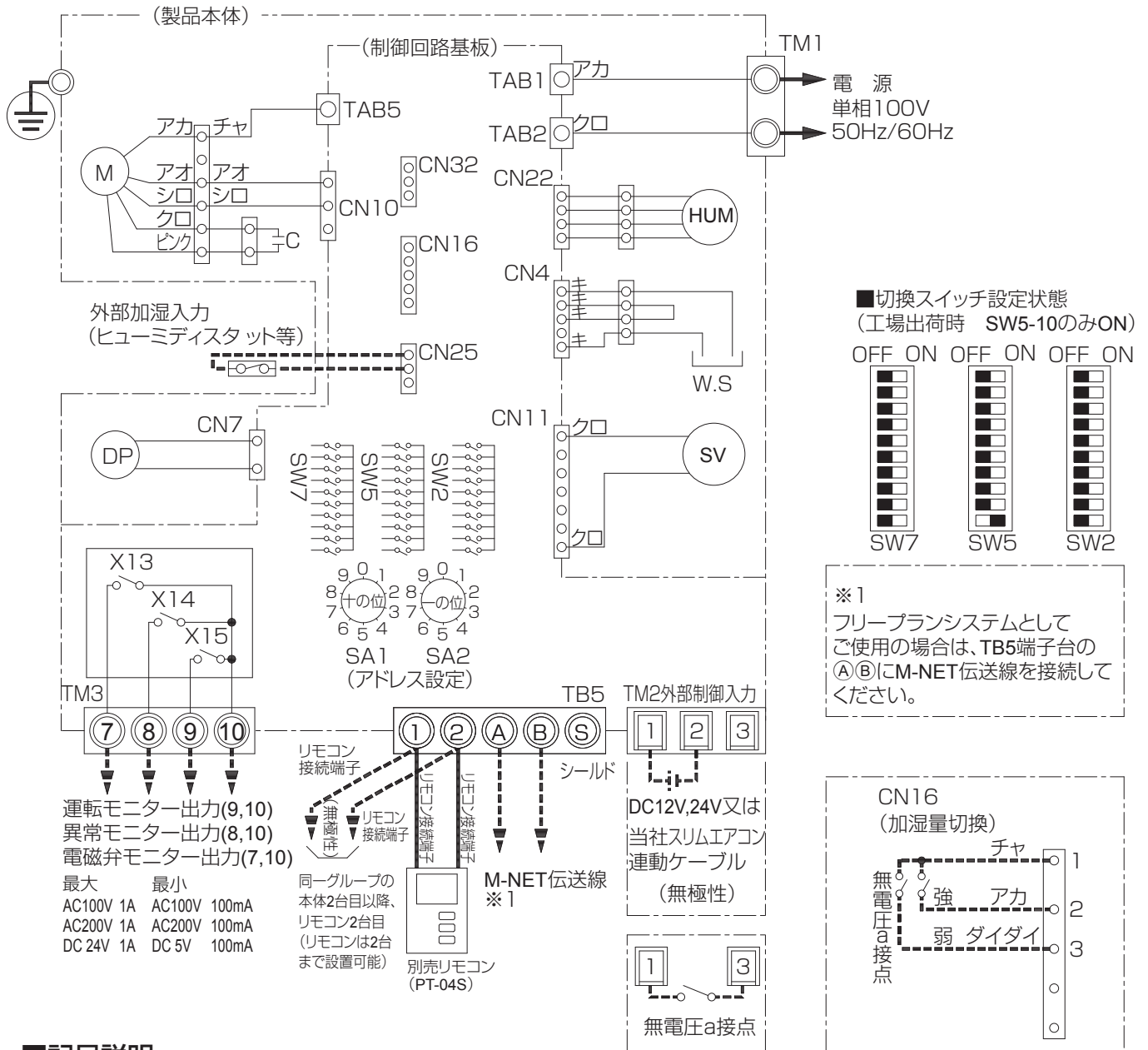
- ドレン配管は、確実に排水するよう配管し、結露が生じないように保温してください。配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になります。
- ドレンホース接続時に使用する接着剤は、必ず日本水道協会規格品の硬質塩化ビニール管用接着剤を使用してください。それ以外を使用すると、水漏れし、家財を濡らす原因になります。
- 集合配管につながる他製品の運転の影響により配管内部の圧力が上昇し、排水されにくくなる場合があります。配管内の圧力が上がらないようご注意ください。



# 結線図

※太線および破線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。

**漏電保護用に電源側に漏電ブレーカーを設けてください**



## 記号説明

記号	名称	記号	名称
M	モーター	TM1	端子台 (AC100V入力)
C	コンデンサー	TM2	端子台 (外部制御入力)
HUM	温湿度センサー (室内温湿度検知)	TM3	端子台 (運転、異常、電磁弁モニター出力)
SW2	機能切換スイッチ	CN16	コネクタ (加湿量切換)
SW5	機能切換スイッチ	CN25	コネクタ (外部加湿入力)
SW7	機能切換スイッチ	CN32	コネクタ (遠方入力)
SA1	アドレス設定スイッチ (10の位) *1	X13~X15	リレー接点
SA2	アドレス設定スイッチ (1の位) *1	W.S	水検知センサー
TB5	端子台 (M-NET伝送線接続: 無極性2線) *1 (リモコン接続端子: 無極性2線) *2	SV	電磁弁
		DP	ドレンポンプ

\*1はフリープラン制御の場合に使用します。

\*2は別売リモコン使用時または1グループに複数台の単独加湿ユニットを接続する場合に結線してください。

# 機能設定

## 機能切換スイッチ (SW2, 5, 7) の切換え

TKA-2400R2の据付工事説明書と図1-1-1部が異なります。詳細はTKA-2400R2の据付工事説明書をご覧ください。基板上の機能切換スイッチ (SW2, 5, 7) にて必要な機能設定を行います。

### お願い

● 工事終了後、機能設定により単独加湿ユニットの機能を変更した場合は、必ず設定内容を各表のチェック欄に○印などで記入して確認してください。

本体回路基板を交換したときは、機能設定を交換前と同じ設定にしてください。

(SW2)		(SW5)		(SW7)	
1	<input type="checkbox"/> 送風機・加湿器・ドレンポンプ試運転	1	<input type="checkbox"/> 遅延設定	1	<input type="checkbox"/> 親機設定
2	<input type="checkbox"/> パルス入力設定	2	<input type="checkbox"/> モニター出力設定	2	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/> 加湿量設定	3	<input type="checkbox"/> 緊急停止設定	3	<input type="checkbox"/> 加湿自動運転時の目標湿度設定
4	<input type="checkbox"/> 加湿量設定	4	<input type="checkbox"/> 停電自動復帰	4	<input type="checkbox"/>
5	<input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)	5	<input type="checkbox"/> エアフィルターメンテナンス表示設定	5	<input type="checkbox"/> 加湿禁止領域設定
6	<input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)	6	<input type="checkbox"/> 外部加湿入力親機連動設定	6	<input type="checkbox"/> ドレンポンプ試運転
7	<input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)	7	<input type="checkbox"/>	7	<input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)
8	<input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)	8	<input type="checkbox"/> 連動モード設定	8	<input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)
9	<input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)	9	<input type="checkbox"/> 外部加湿入力接続設定	9	<input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)
10	<input type="checkbox"/> 強制乾燥運転	10	<input type="checkbox"/> 使用しません (ON のこと)	10	<input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)

## 据付工事後の確認

本体の据付工事が終わりましたら、下表にしたがってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。

試運転前に下記事項をご確認いただき、必ずチェックボックス☑をチェック願います。

	同梱の据付工事説明書参照ページ	本書の参照ページ
(1) 製品据付チェック		
<input type="checkbox"/> 同梱されている付属部品を確認しましたか？	【外形寸法図】 4ページ	4ページ
<input type="checkbox"/> 本体の据付角度は水平もしくはドレン排出口が下になるように1°以内ですか？	【据付方法】 7ページ	5ページ
<input type="checkbox"/> ドレン配管、給水配管は正しく配管されていますか？	【据付方法】 8~10ページ	6~8ページ
<input type="checkbox"/> 給水配管等の断熱工事は完全に行いましたか？	【据付方法】 11ページ	
<input type="checkbox"/> 全ての加湿エレメント、エリミネーターに倒れや傾き、ズレが無いことを確認しましたか？	【据付方法】 9ページ	7ページ
<input type="checkbox"/> 排水性の確認を行いましたか？	【据付方法】 9ページ	7ページ
(2) 電気工事チェック		
<input type="checkbox"/> 電源と本体形名、リモコンの組合せは正しいですか？	【据付方法】 14ページ	
<input type="checkbox"/> 電源に漏電ブレーカーは設置されていますか？	【据付方法】 11ページ	
<input type="checkbox"/> 接続電線は結線図通り結線されていますか？	【据付方法】 12ページ	9ページ
<input type="checkbox"/> 接続電線の端子台への接続は確実ですか？	【据付方法】 13~20ページ	
<input type="checkbox"/> 接続電線の固定は確実ですか？	【据付方法】 13~20ページ	
<input type="checkbox"/> 基板上のコネクターのはずれはありませんか？	【据付方法】 11ページ	
<input type="checkbox"/> アース工事はされていますか？	【据付方法】 13ページ	
(3) 機能設定チェック		
<input type="checkbox"/> 親機設定 (SW7-1) の設定は正しいですか？	【機能設定】 24ページ	
<input type="checkbox"/> アドレス設定スイッチ (SA1, SA2) の設定は正しいですか？	【機能設定】 21ページ	
<input type="checkbox"/> 機能切換スイッチ (SW2, SW5, SW7) の設定は正しいですか？ (*)	【機能設定】 21~26ページ	10ページ
* ドレンアップメカ内蔵形は工場出荷時、SW5-10のみ標準品と異なりONとなっています。		

※初期不具合を防止するため、必ず据付工事後の確認を実施いただき、お客様にお渡し願います。

# 試運転

システム全体の設置完了後、天井板を張る前に誤結線がないか確認し、各システムのリモコン（外部機器用操作スイッチ等）の取扱説明書を参照して試運転を行ってください。

## お願い

- 試運転時（排水時）に排水がドレン配管から戻らないことを確認してください。排水が戻る場合は、ドレン配管のこの配を見直してください。
- 試運転や立会検査実施後は、給水バルブまたはサービス弁を閉止し、排水弁を用いて給水配管内の水抜きを実施した上で、本体回路 SW2-10 にて乾燥運転操作を実施し、加湿エレメントの乾燥運転を行ってください。
- 乾燥運転を行わないと残留水が腐敗し異臭が発生する場合があります。なお、異臭の発生した加湿エレメントは交換が必要になります。
- 給水バルブまたはサービス弁を閉止しないと、凍結・ウォーターハンマー等の影響により電磁弁・ストレーナが破損し水漏れの原因となります。
- 居室、吸込空気が 0℃ 以下の場合は試運転を行わないでください。

## メモ







- **1** 「ドレンポンプの試運転」、**2** 「単独加湿ユニット単独の試運転」以外では、運転開始時にセンシング運転、加湿準備運転を行います。また、室内が高湿度の場合、自動的に停止することがあります。

## 1 ドレンポンプの試運転

本体回路		試 運 転 動 作
SW7	OFF ON	
	6 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	・ドレンポンプに通電され、排水を開始する。

※ドレン配管工事後に 7 ページを参照し、排水が排出されることを確認してください。

## 2 リモコン（PT-04S）使用による試運転

操作項目	操作部	表示部	手 順
1. 運転開始	 加湿 運転/停止 運転ランプ		加湿運転 / 停止ボタンを押す（運転ランプ点灯）
2. 加湿量の切換		 「弱」を示す	加湿量切換ボタンを押す 「強」または「弱」を選ぶ
3. 運転停止	 加湿 運転/停止 運転ランプ		加湿運転 / 停止ボタンを押す (運転ランプが消灯し、単独加湿ユニットは電磁弁が閉止し、5 分後に乾燥運転になります) 運転停止 5 分後に、乾燥 ( <i>dry</i> ) が点灯します。 (2 時間経過後、乾燥運転は自動で停止します)

# 試運転 つづき

## 3 単独加湿ユニット単独の試運転

本体回路		試 運 転 動 作
OFF	ON	
SW2	1 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"><li>・送風機に通電され、加湿量強で運転する。</li><li>・電磁弁に通電されて電磁弁が開き、給水を開始する。</li><li>・ドレンポンプに通電され、排水を開始する。</li></ul>

### 1 運転開始

1. 単独加湿ユニットに電源を供給する。
2. 試運転スイッチ（SW2-1）を「ON」にする。  
〔試運転動作〕  
加湿量強で運転

### 2 加湿確認

- 1で試運転スイッチ（SW2-1）をONにしたまま加湿エレメントへの給水チューブを1か所はずし、水が供給されているか確認する。

### 3 排水確認

- ドレンポンプが動作して排水されているか確認する。

### 4 運転停止

- 試運転スイッチ（SW2-1）を「OFF」にする。  
※試運転スイッチをOFFにした後、ドレンポンプは6分間遅れて停止します。

### 5 乾燥運転

- SW2-10をOFF→ON→OFFにして加湿エレメントの乾燥運転を実施する。（2時間）

※試運転では加湿エレメントの乾燥運転機能は働きませんので、SW2-10による乾燥運転を必ず実施してください。

## 4 システム全体の中での単独加湿ユニット試運転

### ■空調機または外部機器と連動運転システムの場合

- 空調機のリモコンスイッチまたは外部機器用操作スイッチを利用して空調機と単独加湿ユニットの連動を確認する。
- 遅延設定されている場合は遅延時間経過後に単独加湿ユニットの運転を確認する。

### ■MELANS システムの場合

- 三菱ビル空調管理システム（MELANS）のシステムコントローラ等から単独加湿ユニットの運転を確認する。

## 5 試運転異常があった場合

下記以外の項目は TKA-2400R2 の据付工事説明書をご覧ください。

現 象	処 置
ドレンポンプが動作しない ドレンポンプが排水しない	<ul style="list-style-type: none"><li>● SW5-10 が「ON」になっているか確認</li><li>● ドレンポンプが目詰まりしていないか確認</li><li>● ドレン配管の立ち上げ、ドレン配管こう配が正しく施工されているか確認</li><li>● ドレンポンプの劣化の場合、ドレンポンプの交換</li></ul>

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。